

9月は 世界アルツハイマー月間

国際アルツハイマー病協会(ADI:85の国と地域が加盟)は本人や家族の生活をよりよくすることを目的に、世界中で啓発活動を行っています。ADI加盟団体である「家族の会」では、全国各地で啓発リーフレットを配布する街頭活動や記念講演会の開催などに毎年、取り組んでいます。



2017年 京都で ADI国際会議を 開催!

認知症の国際会議を京都で開催します(80か国以上、4,000人が参加予定)。認知症は世界的にも重要な課題です。ぜひ、ご参加ください。

《日時》 2017年4月26日～29日
(26日は登録者受付と歓迎会)

《会場》 国立京都国際会館

《プログラム》 ● 全体会テーマ
「認知症に関する世界的局面」
「認知症にやさしい地域」 など
● 分科会 ● 協賛シンポジウム
● 展示 ● ポスター発表

《参加登録料》 一般/77,000円
早期 介護者/39,000円
認知症の本人と介護者/45,000円(2人で)
「家族の会」会員/32,000円 他

国際会議公式サイト

URL ● <http://adi2017.org/ja/>
連絡先 ● ADI2017国際会議事務局
TEL. 075-811-8399



「家族の会」は、
認知症になっても安心して暮らせる
社会の実現を目指しています。

《本人・家族との絆》

全支部で本人や家族が集まり、悩みや喜びを話し合う“つどい”を開催。介護体験や情報などを掲載した会報を発行。
本部と全支部で年間のべ20,000件の相談活動。

《社会への発信》

国・自治体への提言・要望や講演会などの普及啓発活動。

「家族の会」は1980年に結成、全都道府県に支部があり、会員11,000名。どなたでも入会できます(年会費5,000円)。

活動内容、各地のつどいなどの情報は
「家族の会」ホームページをご覧ください。

家族の会 検索

国際会議には、下記の4団体の協力を得ています

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会／男性介護者と支援者の全国ネットワーク／日本認知症ワーキンググループ／レビー小体認知症サポートネットワーク



公益社団法人
認知症の人と家族の会 代表理事 高見国生

〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る 京都社会福祉会館2階
TEL 075-811-8195 FAX 075-811-8188
ホームページ <http://www.alzheimer.or.jp>

認知症の
電話相談 0120-294-456 (10:00～15:00)
(土日祝を除く)
(通話無料)

「認知症早期発見のめやす」付き

2016年版

忘れても
寄り添うところが
支えてる

— 認知症とともに新しい時代へ —



ADI 第32回国際会議・京都・2017

認知症とともに新しい時代へ



公益社団法人 認知症の人と家族の会
Alzheimer's Association Japan

9月は世界アルツハイマー月間

国際アルツハイマー病協会提唱
厚生労働省後援



alzheimer.or.jp



fb.com/kazokunokai



@kazokunokai

オレンジ色でつぶやこう!
#アルツハイマーデー

家族がつくった 「認知症」早期発見のめやす

NHKで紹介されました

もの忘れが
ひどい

- ☐ 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- ☐ 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・
理解力が
衰える

- ☐ 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 6. 新しいことが覚えられない
- ☐ 7. 話のつじつまが合わない
- ☐ 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・
場所が
わからない

- ☐ 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 10. 慣れた道でも迷うことがある

人柄が
変わる

- ☐ 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 12. 周りへの気づきがなくなり頑固になった
- ☐ 13. 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が
強い

- ☐ 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲が
なくなる

- ☐ 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がいやがる

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考になしてください。

いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

大切な家族のために 認知症 を知ってください

「めやす」で、
あてはまる項目があるわ！
どうしましょう。

まず、かかりつけの病院などで
相談しましょう。できれば家族にも
一緒に行ってもらいましょう。

エーッ！おばあちゃんが
認知症になったら、
どうなっちゃうの？

もの忘れが増えたりしますが、大好きなおばあちゃんだから、みんなで支えてあげれば大丈夫ですよ。

介護のために
パートを辞めないと
いけないの？

デイサービスやヘルパーなどの
介護保険制度や地域のサービスを使えば仕事との両立もできます。

家族だけで介護は
できるのかな？

家族だけで抱え込むと介護は続けられません。地域包括支援センターや「家族の会」にご相談ください。

2025年には 高齢者の5人に1人が 認知症になると言われています

認知症は脳の病気で日常生活に支障がでてきます。介護は家族だけではできません。地域のサービスや介護保険制度を利用しましょう。また、誰かに話を聞いてもらったり、相談することも大切です。そのためには悩みを打ち明けられる、つながりの場を作りましょう。

「家族の会」では、介護者がつながる場
“つどい”を開催しています。

「家族の会」は介護保険の 給付削減・負担増に反対します

2015年の介護保険制度改定に続き、さらに介護サービス縮小の検討が始まりました。

要介護1、2のデイサービスや掃除、調理などの生活援助が対象になっています。また、利用料の引き上げも検討されています。このままでは、“制度はあってもサービスなし”になりかねません。